



びえいフーズ農作物情報

09年9月下旬号

びえいフーズ株式会社
販売課

■天候概要

9月にはいっても天候は安定せず、曇天や雨降りが多く日照時間が少なめの日が続いています。気温一進一退しながらも確実に下がっていき、美瑛地区の20日の最低気温は2℃、21日は同-0.3℃を記録しました。いつ霜が降りてもおかしくない気候となってきた中、生産者は遅れ気味の収穫に追われ、かつ、秋まき小麦の播種作業などもこなさなければならない、多忙な時期を迎えております。

スイートコーン



8月下旬の強風の影響で、この圃場はほとんどが倒伏しかかっているため、手作業でとうもろこしを起こしながら収穫を行った。それでも完全にとりきれず残るものもあるので、あとから手作業で拾い集めた。短い晴れ間の、土が湿り気を含んだままの圃場であるため、歩くだけでも重労働である。スイートコーンの収穫・加工はすでに終盤だが、今年は短いもの、細いもの、先端不稔などが多い不作で、かなりの減収となることが決定的となった。

かぼちゃ



他の農産物の収穫の合間に手作業でかぼちゃの収穫を行う。今年は小さいものが多く、大幅減収の模様。葉の繁茂が思わしくなかった影響で実が日焼けして茶色っぽくなったものが多い。

馬鈴薯



馬鈴薯の中に見られる生理障害。左の画像は早生白(ワセシロ)種のもの。一般的には大き目のものに発生しやすいが、近年は小振りの芋にも発生しているものが見られる。外見からは判断しにくく、割ってみないとわからない場合が多い。今年のワセシロは、品質的にはライマン価(=でん粉含有率)が高く風味もあり、おいしい。これから当社のメインとなる「トヨシロ」「さやか」種を使用していくが、全体的に小振り傾向。また、夏季の長雨の影響で、保存後の病害の発生がないか懸念される。

(09.9.16撮影)